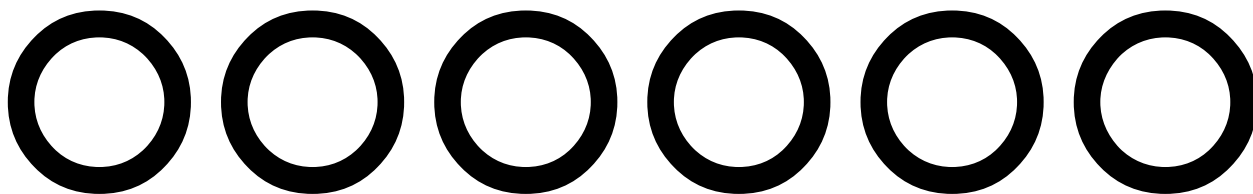


南区版



浜松市 区版避難行動計画

【この冊子ですべて欲しい3つのこと】

1 避難場所を決める

①「1. 災害から身を守る」を読む

P1~P16

②家族で避難場所を考え、巻末の「防災マップ」の地図やメモ欄に記入する

避難経路の決め方はP〇へ
防災マップは巻末へ**2 防災マップを目の付きやすい所に貼る**

「防災マップ」に避難場所などを書き込んだら、毎日目にする災害時も安全な所に貼る

3 My 防災カードをつくる

「防災カード」に、自分の名前、緊急連絡先、避難所などを記入し、かばんや財布などに入れて常に携帯する（家族みんながそれぞれ携帯しよう！）

防災カードは巻末へ

- ※ページ数は変更になることがあります。
- ※イラスト、図面などについては仮の内容です。
- ※この資料をご一読ください。会議当日は冊子の構成や内容（特に「1. 災害から身を守る」）についての話し合いを行います。
- ※タイトルについても当日話し合いますのでアイデアをお考えください。

平成24年〇月

【南区の人口と気象】

人口と世帯数 約 人(約 世帯)
 高齢化率 約 %(以上平成 23 年 10 月現在)
 年平均気温 ℃
 降水量 約 mm
 年平均風速 約 m/S



これまで南区で発生した主な災害

地震・津波

- 〇〇〇〇年 〇〇地震(推定 M〇〇~□□)
- 〇〇〇〇年 〇〇地震(推定 M〇〇~□□)
- 〇〇〇〇年 〇〇地震(推定 M〇〇~□□)
- 〇〇〇〇年 〇〇地震(推定 M〇〇~□□)

安政東海地震では、□

□□□□□□□□□□

□□□□□□□□

東南海地震では、□□

□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□

□□□□



地震・津波が起こったら…P 3

風水害

- 〇〇〇〇年 〇〇川洪水
- 〇〇〇〇年 〇〇川堤決壊
- 〇〇〇〇年 〇〇川洪水
- 〇〇〇〇年 〇〇川洪水
- 〇〇〇〇年 大雨
- 〇〇〇〇年 台風

昭和 20 年の水害で

は、□□□□□□□□

□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□

□□□□□□



風水害が起こったら…P 11

頁

□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□



□□□□□□□□

災害時の避難行動

津波

地震後、すぐに津波は海岸に到達します
揺れがおさまったらただちにできるだけ高い場所に避難

津波からの避難方法

※この避難の流れは、本策定会議
を通じてまとめていきます

大きな揺れや長い時間の揺れを感じたら

- ①まずは地震の揺れから身を守る
- ②揺れがおさまったらただちに津波避難ビルや高台に避難
- ③津波警報が解除されるまでは、避難場所から移動しない

大きな揺れを感じなくても、津波警報が発令されたら

- ①警報発令後、ただちに津波避難ビルや高台に避難
- ②津波警報が解除されるまでは、避難場所から移動しない

大きな揺れを感じなくても、津波注意報が発令されたら

- ①注意報発令後、ただちに海の中や海岸から離れる
- ②注意報が解除されるまでは、海岸には近づかない

東海地震の警戒宣言が出されたら

- ①警戒宣言発令後、ただちに津波避難ビルや高台に避難

津波警報とは

大津波警報 3m以上の津波 ただちに高台や避難ビルに避難 (サイレン吹鳴パターン)

津波警報 1～3mの津波 ただちに高台や避難ビルに避難 (サイレン吹鳴パターン)

津波注意報 0.2～1mの津波 ただちに海岸から離れる (サイレン吹鳴パターン)

津波からの避難 6つのポイント

1. 強い揺れや長い時間の揺れを感じ、揺れがおさまったすぐ避難

地震発生後、津波はすぐに海岸に到達します
津波警報をまたずにただちに避難します

2. 「津波だ」「逃げろ」と呼びかけしながら率先して避難

あなたが呼びかけながら避難することで、周りの人たちが避難するきっかけとなります

3. より高いところに避難

津波はどの高さまで到達するかわかりません
また、わずかな水深でも流される危険性があります
より高いところへ、可能な限り避難します

4. 津波警報中は避難場所から帰らない

津波は繰り返し襲ってきます
津波警報中に帰宅し、被災した人がいます

5. 携帯ラジオなどで情報収集

携帯ラジオなどを身につけていれば、停電時も情報を入手できます
防災ホッとメールを登録し、受信しましょう

6. あらかじめ、家族や地域でどのように避難するか考えておく

地震はいつ発生するかわかりません
いざというとき家族みんなが避難できるよう、あらかじめ避難場所を考えておきます
どこを歩いてどこに逃げるのか、地図を見ながら、また実際歩きながら考えます
→巻末の防災マップへ

津波避難ビル いざというときのために、あらかじめ自分の家の近くの津波避難ビル

可美地区

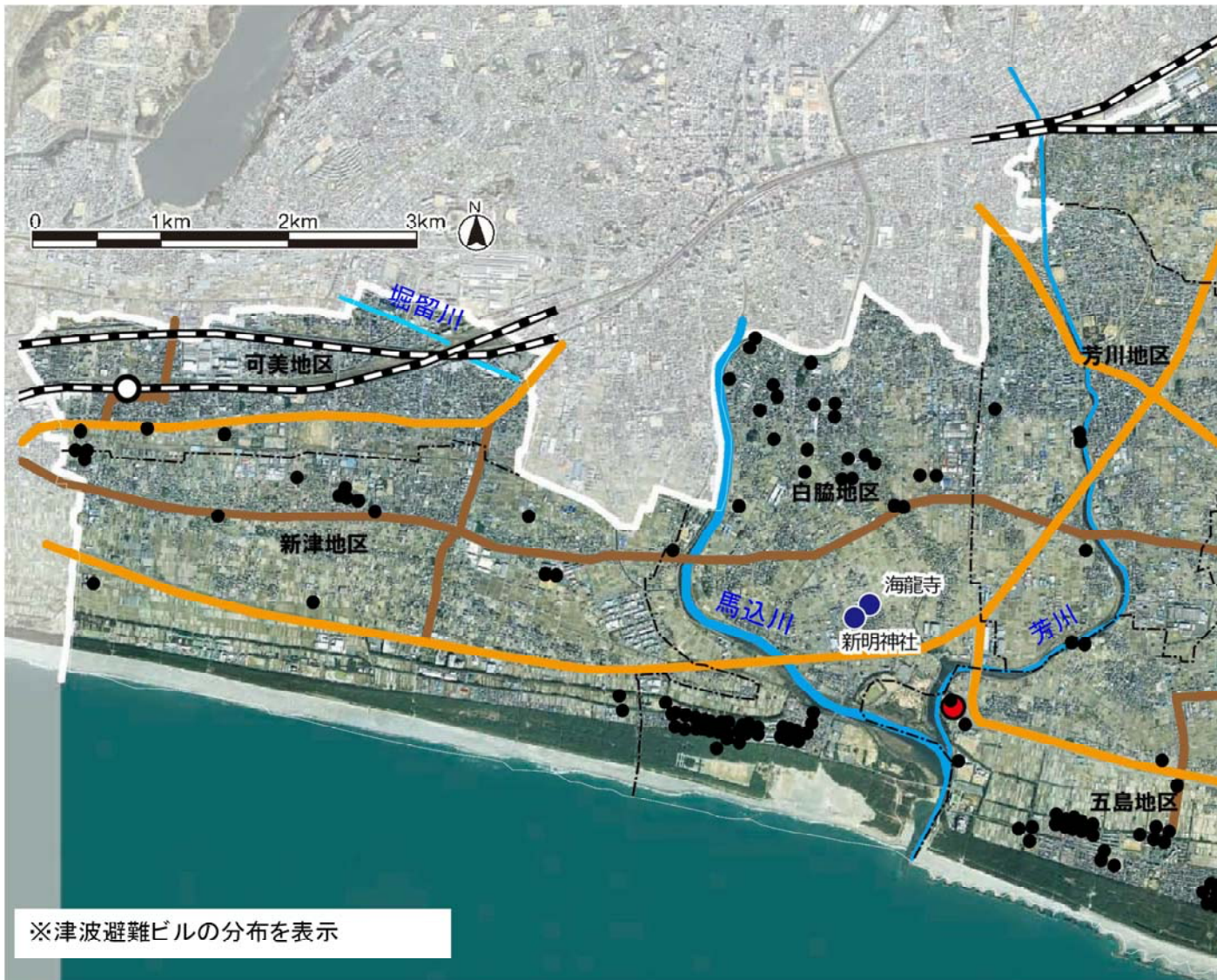
※名称、階数、施錠状況等を記載

新津地区

※名称、階数、施錠状況等を記載

白脇地区

※名称、階数、施錠状況等を記載



避難ビルの登り口を確認しておこう

記載

この標識が目印



芳川地区

※名称、階数、施錠状況等を記載

河輪地区

※名称、階数、施錠状況等を記載

五島地区

※名称、階数、施錠状況等を記載



地震

南区では東海地震が発生した場合、震度6弱～震度6強の揺れが予測されています。津波の前に、まずは地震の揺れから身を守ることが大切です。

地震発生後の避難方法

※この避難の流れは、本策定会議を通じてまとめていきます

地震発生!

緊急地震速報を聞いたら(テレビ・ラジオなど)

まず自分の身を守る

ポイントは次ページに

チェック1

揺れがおさまったらまずは津波からの避難

ただちに津波避難ビルや高台に避難
津波警報発令中は避難場所から動きません

→3~4階へ戻る

津波の恐れが無くなってから

チェック2

自宅が壊れて住めない状態である
余震などで自宅が倒壊しそうである

YES

一次避難地へ
一次避難地とは

火災など一次避難地に危険が迫っている!

一次避難地に開設される避難所で生活
避難所とは

YES

広域避難地へ
広域避難地とは

NO

チェック3

自宅に火災が迫っている

YES

NO

自宅に待機

※自宅付近の安全が確認できれば自宅に待機しましょう。

避難地が分からない人・・・P●へ

東海地震の情報を聞いたら

東海地震に関連する調査情報



東海地震注意情報



東海地震予知情報



こんなときどうする ～とっさの判断～

1. 屋内にいる

家の中



イラスト

家の中の安全ゾーンを作っておき、逃げ込む

避難口確保のためにドアを開ける

大きな地震から身を守るために、普段から家具の固定や家具の配置の工夫などを行うことが大切です
→ ページへ

エレベーターの中

火を扱っていたら

デパート・スーパー

ビル・オフィス

地下街

2. 屋外にいる

路上

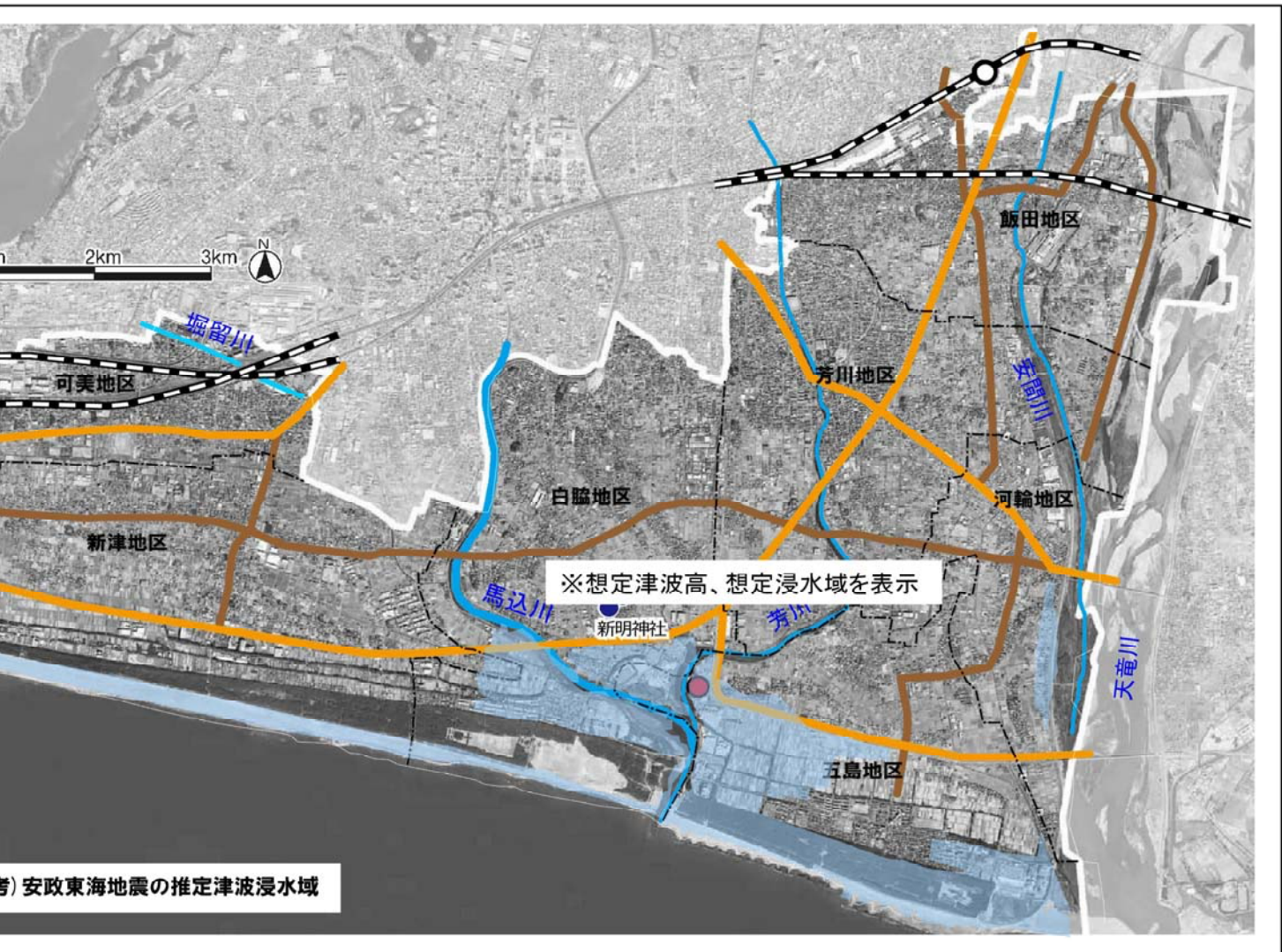
避難地に向かうときは・・・

- ・家の火の元を確認
- ・家のブレーカーを切る
- ・ヘルメットや防災ずきんをかぶる
- ・非常持出品の確認
- ・余震などで看板やガラスなどの落下に注意
- ・崩れそうなブロック塀に注意
- ・電線に触らない

住宅街

電車やバスなどの車内

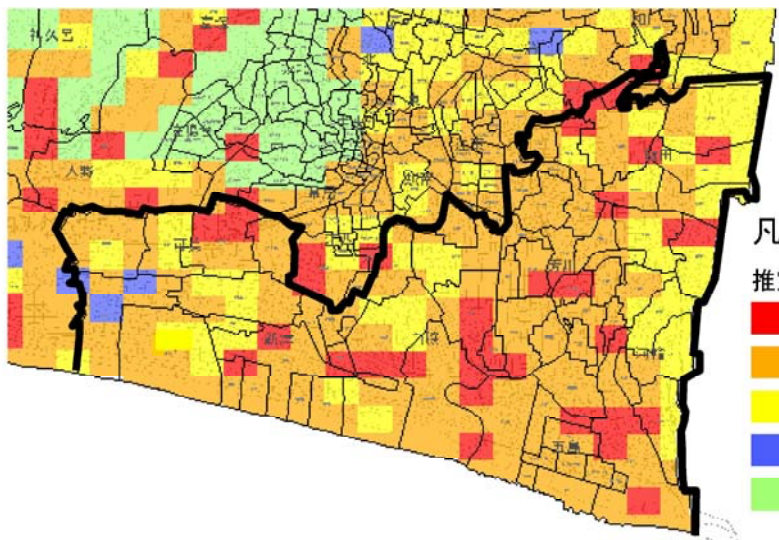
車の運転中



参考) 安政東海地震の推定津波浸水域

液状化危険度 (静岡県第3次地震被害想定(平成13年5月)より)

下図は、推定される東海地震が発生した場合に、各地域で予想される地盤の液状化危険度を4階級に区分したものです。
 南区では、馬込川、芳川、安間川周辺の危険度が高くなっています。



凡例
 推定液状化危険度

- 大
- 中
- 小
- なし
- 岩盤

<液状化とは>

□□□□□□□□
 □□□□□□□□
 □□□□□□□□
 □□□□□□□□
 □□□□□□□□
 □□□□□□□□

イラスト、イメージ説明

風水害

激しい雨の時、台風の際は水害に警戒を！

自分が住んでいる場所に危険が迫ったら、避難情報を待たずに避難しよう！

降雨の状況や河川の水位上昇の状況から、自分が住んでいる場所の危険を判断しましょう。

避難時の注意点

時間がある場合

近所の人と一緒に避難所へ

時間がない場合 避難所が遠い場合

冠水が始まっている状況や雨の激しい時、強風時は外に出るのは危険！

天竜川の氾濫の場合 ⇒ 近くの頑丈な高い建物の2階以上に避難
中小河川の氾濫の場合 ⇒ 自宅の2階以上に避難

暴風・高潮・竜巻に注意

避難する前に連絡を！



動きやすい服装で避難



車は控えて歩いて避難



浸水箇所を歩行する時は

たとえ10cmの浸水でも足元が見えず危険！

浅くても注意

足元に注意

地下道に注意！

危険な場所には近づかないで！

増水した河川は大変危険！
危険な場所に近づかず、自宅で賢く水位情報を入手しよう

静岡県土木総合防災情報「サイボスレーダー」

ホームページアドレス ○○○○○○○○○○○○○○

付近の河川で情報が得られる地点

河川名	観測所	水位 (m)		
		氾濫注意水位	避難断水水位	氾濫危険水位
天竜川	掛塚橋	2.60	—	—
馬込川	松江	3.10	3.40	3.88
芳川	芳川	2.30	2.40	2.83
安間川	安間川	2.30	2.40	2.83



平常時の河川の様子

30分ごとの水位データ

現在の河川の様子

雨量の情報 (時間雨量、累積雨量など)

雨の降り方と雨量（1時間）の目安

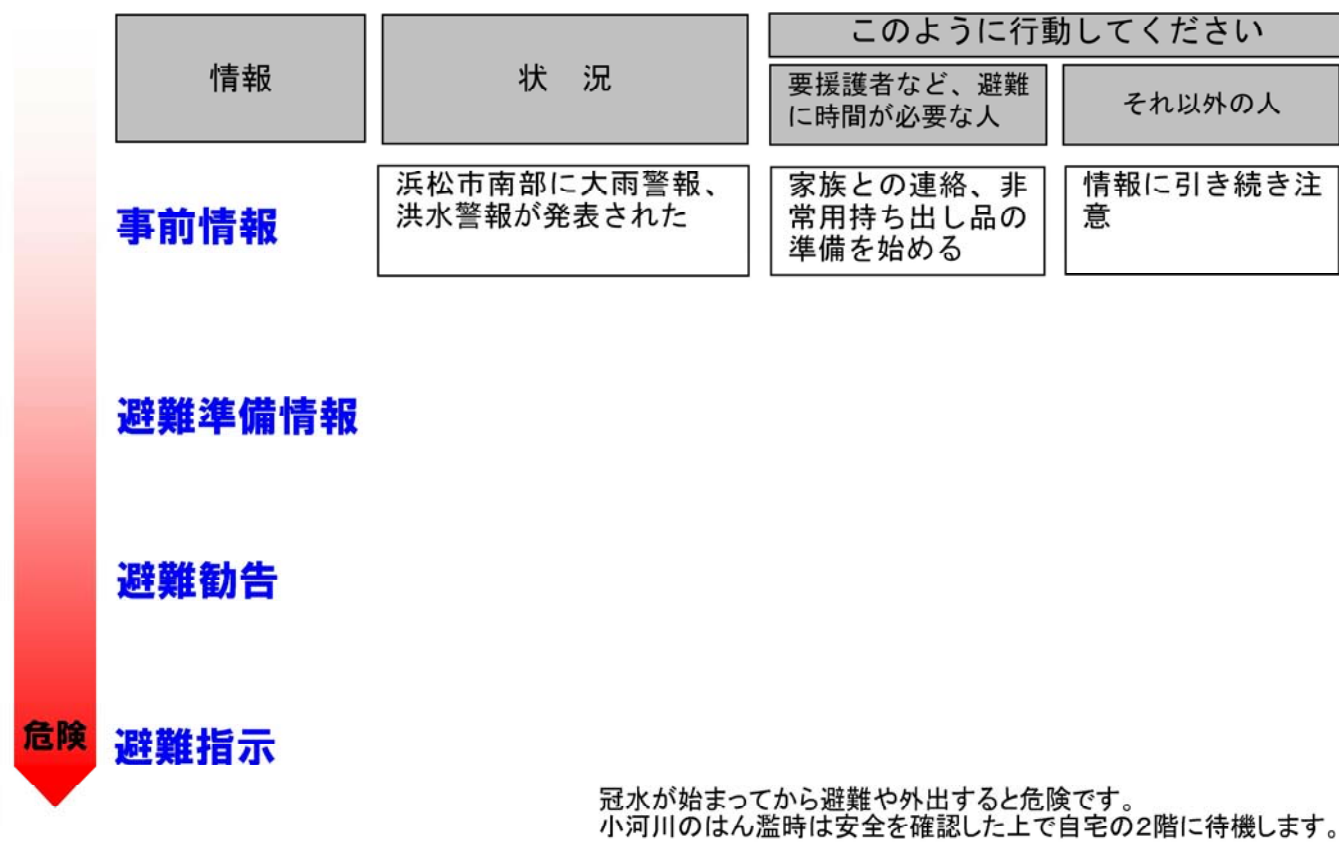
停電時は携帯ラジオなどで情報収集を
川や崖地の近くの方は、大雨となる前が避難のタイミング

おおよその 1時間雨量	雨の降り方のイメージ	
5～10ミリ	イラスト	雨がトタンを打つ音が聞こえ、あちこちに水たまりができる
10～20ミリ	イラスト	雨音で話がよく聞き取れない。一面に水たまりができる
20～30ミリ	イラスト	土砂降りで側溝があふれ、小さな川の氾濫が始まる
30ミリ以上	イラスト	バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れやがけ崩れがおきやすい

避難情報が入手できる場合

避難情報はあくまで参考情報として
危険を感じたら自分の判断で避難を！

天竜川の近く、馬込川、芳川、安間川の近くにお住まいの方
低い土地に住んでいる方は特に気をつけて情報を聞いてください。

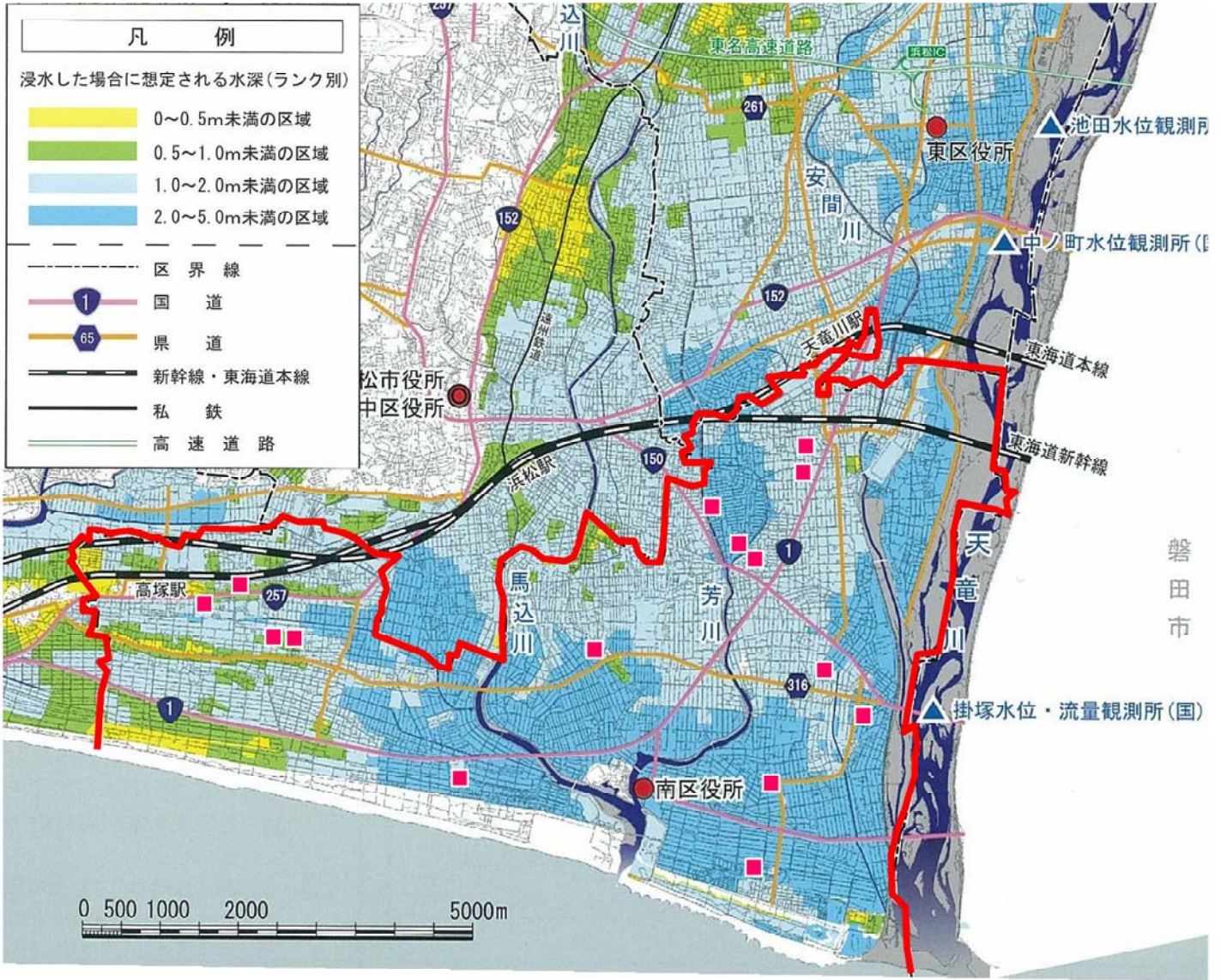


避難情報とは

避難情報	意味
避難準備情報	<ul style="list-style-type: none"> 河川はん濫の情報への注意喚起を促し、避難のための準備を呼びかける情報 避難に時間のかかる要援護者などは避難を呼びかける情報
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> 河川がはん濫する危険のある水位に達する恐れがあることを知らせ、避難を促す情報
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> 河川のはん濫が目前に迫った時や堤防が決壊した時に出され、すみやかな避難を呼びかける情報

天竜川の氾濫による被害想定

□□□□□□□□□□□□□□



馬込川・芳川・安間川の氾濫による被害想定

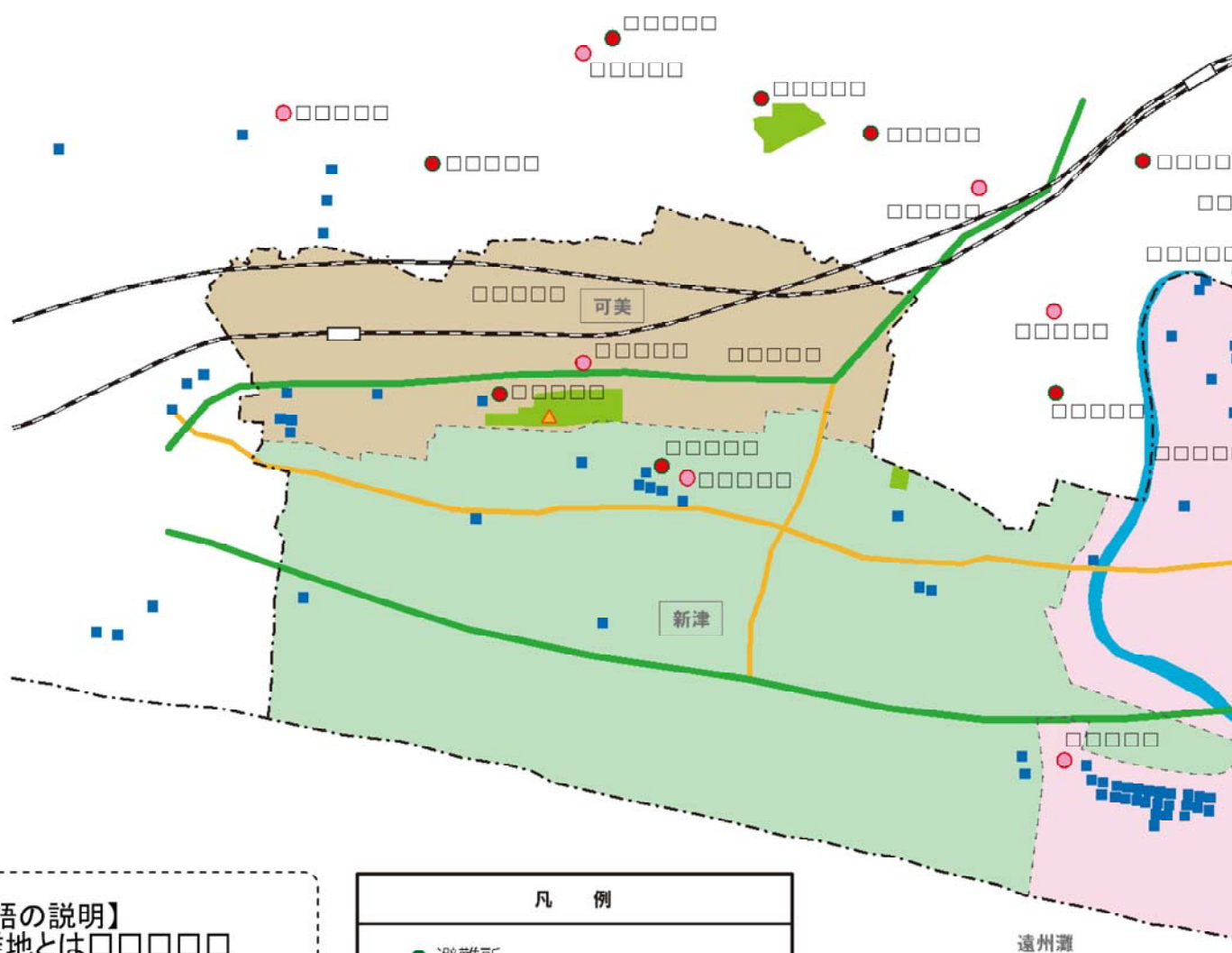


■ : 避難所
■ : 洪水時緊急避難施設

注意: 0~0.5m未満の区域内にある**避難所**は浸水する(0.5m未満)場所にあります。
注意: **洪水時緊急避難施設**は避難が遅れた人が緊急時に利用できる施設です。低い階は浸水しますので2階以上に避難してください。

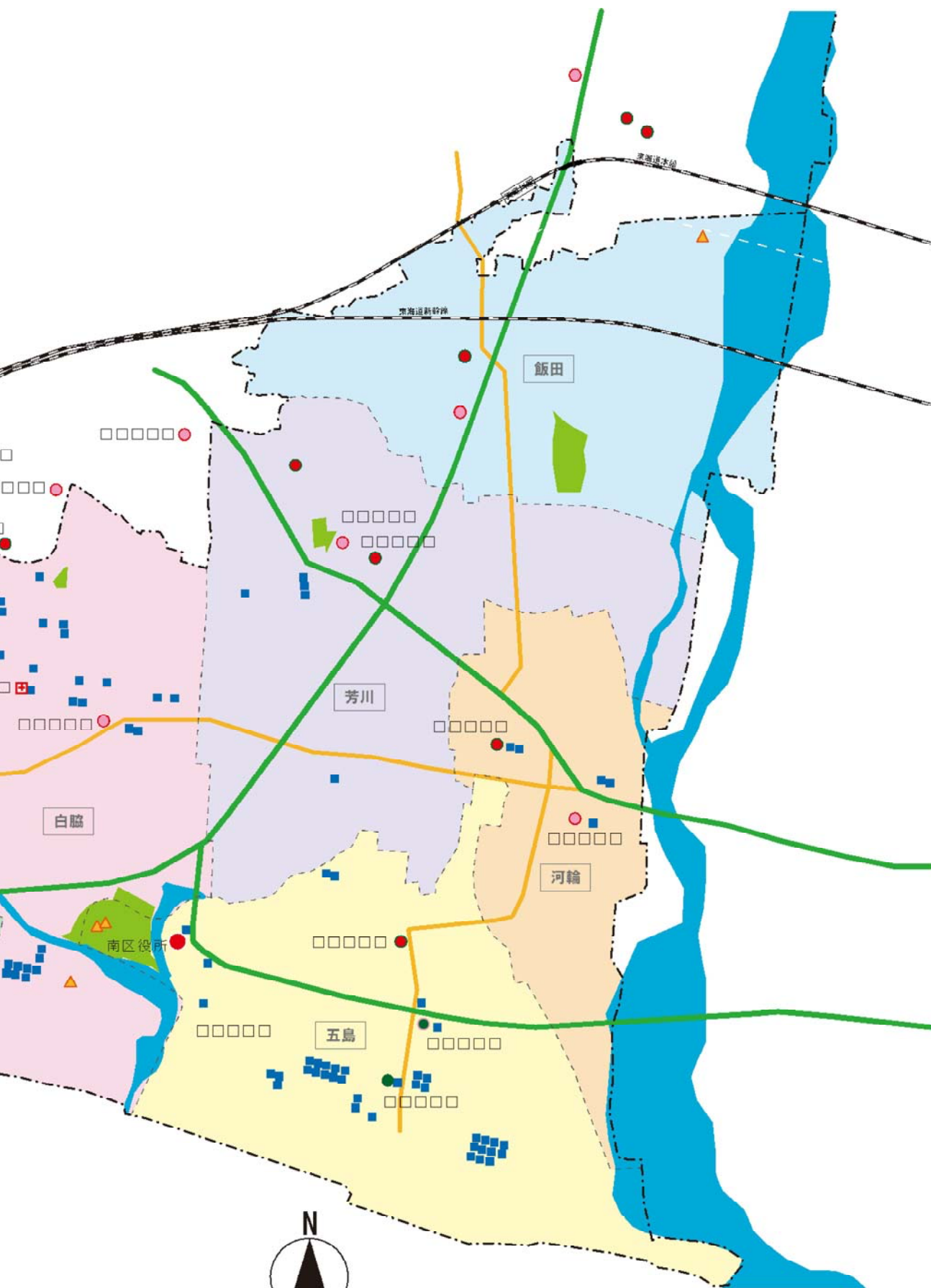
南区 防災施設マップ

- ・ 普段から地震、津波、風水害の際の避難場所を考えておきましょう。
- ・ 巻末に折り込まれている拡大図面も併せて参照してください。

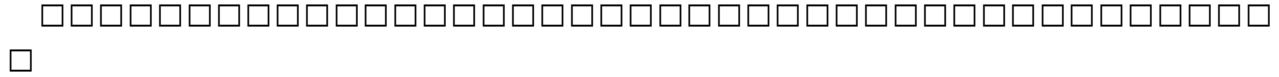


【用語の説明】
 避難地とは□□□□□
 避難所とは□□□□□
 応急救護所とは□□□

凡 例	
●	避難所
●	一次避難地・避難所
●	一次避難地・避難所・応急救護所
●	避難所・応急救護所
□	応急救護所
田	救護病院
■	広域避難地
■	津波避難ビル
▲	ヘリポート



インターネット



●家族や仲間の安否を知る



「災害用伝言ダイヤル」

災害時（震度6弱以上の地震など）にはNTTの災害用伝言ダイヤル「171」が稼働します。

家族や知人の安否を確認するときなどに活用しましょう。

●伝言の録音方法

171⇒1 ⇒ 被災地の人の自宅の電話番号（市外局番から） ⇒ 伝言を吹き込む

●伝言の再生方法

171⇒2 ⇒ 被災地の人の自宅の電話番号（市外局番から） ⇒ 伝言を聞く

※自分が被災地の人である場合は自宅の電話番号を、被災地以外の人の場合は被災地の人の自宅の電話番号を入れてください。

※音声案内が流れますので、案内に従い落ち着いて利用しましょう。

※毎月1日（1月1日は除く。）は全国で「災害用伝言ダイヤル」の利用体験ができます。



携帯電話の「災害用伝言板」

災害時（震度6弱以上の地震など）に携帯電話サービス会社は「災害用伝言板」を開設します。

被災地の人の安否情報を伝言板に登録でき、登録された伝言は、同じ会社の携帯電話はもちろん、他社の携帯電話やPHS、パソコンからでも見ることができます。

※サービスの詳細は各携帯電話会社にお問い合わせください。



公衆電話

グリーン・グレーの公衆電話は、災害時優先電話として、一般の電話よりもつながりやすくなります。



遠隔地に連絡中継点をつくる

災害時であっても、被災地から被災地以外の場所への電話は比較的つながりやすいと考えられます。そこで、遠隔地の親せきや友人などに依頼して、連絡中継点になってもらう方法も有効です。



事前にできること

●備蓄品

非常持ち出し品

常備薬・救急セット

非常用食料

応急生活用品

非常備蓄品・災害復旧までの数日間分準備するもの

非常用食品・飲料

カセットコンロ

その他生活用品

高齢者や体の不自由な方がいる家庭

赤ちゃんがいる家庭

介護・看護用品・おむつ

粉ミルク・哺乳瓶・おむつ

こんなものもあると便利

●帰宅困難者にならない備え

大地震が発生した場合、交通機関の途絶によって自宅に戻れない「帰宅困難者」になる可能性もあります。勤務先や学校から徒歩で帰宅することを想定し、日ごろから準備をしておきましょう。

職場にも防災グッズを用意しておきましょう

携帯ラジオ、ヘルメット、スニーカー、携帯食料、懐中電灯、革手袋、地図、防寒対策用品など。

帰宅地図を用意しましょう

あらかじめ自分なりの帰宅地図を用意しておきましょう。災害の状況によっては、道路が通行不能になる場合もあるので、複数のルートを決めておくとよいでしょう。



●建物や塀の備え

建物の耐震化 浜松市プロジェクト TOUKAI (東海・倒壊) - O 総合支援事業



□ **ステップ1：専門家による無料耐震診断**

- ・希望者に「静岡県耐震診断補強相談士」を無料で派遣し、簡単な耐震診断を行っています。
- ・ご希望の方は電話で建築行政課までお申し込みください。



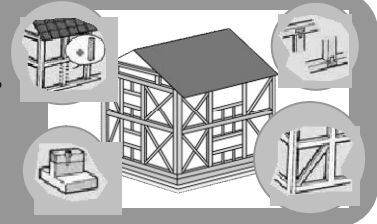
ステップ2：補強計画の作成

耐震補強工事に必要な補強計画を作成します。
補強計画を作成するための費用に対し補助制度があります。

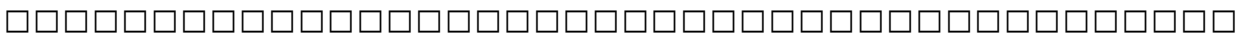


ステップ3：耐震補強工事

作成した補強計画に基づき、適切な耐震補強工事を行います。
耐震補強工事に必要な費用に対し補助制度があります。



ブロック塀の安全チェック



□

チェック①

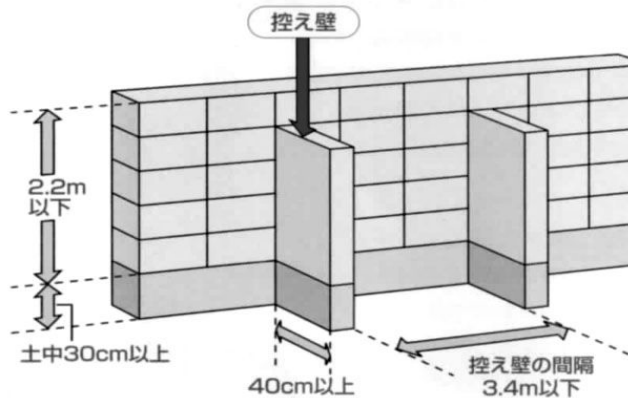
高さは2.2m以下になっているか。

チェック②

基礎コンクリートは30cm以上埋め込まれているか。

チェック③

ひび割れ、傾きなどはないか。
鉄筋がさびていないか。



チェック④

支えとなる控え壁は、3.4m以下の間隔で設けてあるか。
長さは40cm以上あるか。

チェック⑤

直径9mmの鉄筋が縦横とも80cm以下の間隔で入っており、しっかりと固定されているか。

災害時に役立つ知識

●けが人を助けるために
応急手当ての方法

□□□
□

出血

- ①傷口を十分におおえる大きさの清潔なガーゼや布を当て、その上を強く押さえる。
- ②傷病者の血液に触れると感染を起こす危険があるので、できる限りビニール手袋やビニール袋などを使う。



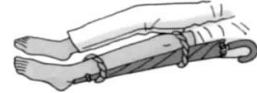
やけど

- ①流水で十分冷やす（患部に直接強い水圧がかからないように注意）。
- ②衣服の上からやけどをした場合は、無理に脱がさずそのまま冷やす。
- ③水疱（水ぶくれ）を破らない。
- ④冷やした後は、消毒ガーゼかきれいな布で保護し、最寄りの応急救護所へ。



骨折

- ①折れた部分に添え木（副木）を当てる固定し、最寄りの応急救護所へ。
- ②適当な添え木がなければ、板、雑誌、傘、段ボールなど、身近にあるもので代用を。



ねんざ

- ①患部を冷やす。
- ②くつをはいていた場合は、上から三角巾や布で固定する。



倒れている人がいたら

□□□

□心肺蘇生法

AEDの使用

●初期消火

手作り防災カード（裏面）

→切り離して利用する

手作り防災カード（裏面）

防災マップ

（折込）

→家の目立つ所に貼っていただく

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）